

令和5年度
高浜市介護保険サービス事業所 第三者評価
報告書

令和6年2月

高浜市介護保険審議会 第三者評価部会

I 令和5年度 高浜市介護保険サービス事業所第三者評価

1. 全体概要・各事業所評価

1) 対象事業所

令和5年度において、第三者評価の対象となった事業所は次のとおりです。

No.	事業所名	サービス種類	回数	事業開始年度	ヒアリング実施日
1	ケアハウス湯山安立	特定施設入所者生活介護	3	令和2年度	令和5年12月26日
2	地域密着型サテライト型特別養護老人ホームいこいの宿高浜安立	地域密着型介護老人福祉施設	2	令和3年度	令和5年12月20日
3	みんなの訪問看護 リハビリステーションすまいる	訪問看護	2	令和3年度	令和5年12月28日

◆評価対象事業所

- ・市内で新規にサービス提供を始めた事業所 <事業開始の翌年度から3年間実施>
- ・3年目に、A評価が90%以上かつB評価以上（C・D評価がない）になれば、評価は終了となる。

2) 評価結果一覧

No.	事業所名	評価結果					評価概要
		計	A	B	C	D	
1	ケアハウス 湯山安立	46	46	0	0	0	・昨年度高評価だった取組みは継続している ・新たな取組みとして、サービス計画等の充実を図るための満足度調査の実施や、専門職の研修の強化をしている
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
2	地域密着型サテライト型 特別養護老人ホーム いこいの宿高浜安立	42	42	0	0	0	・昨年度未実施だった権利擁護に関するマニュアルが整備されていた ・本体施設と連携し、組織全体でサービスの質を向上させている
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
3	みんなの訪問看護 リハビリステーション すまいる	28	24	2	2	0	・一部、計画の策定が未着手です ・看護師や作業療法士独自の視点・知識からサービスの提案等ができる点や、ACPの観点からのケアを大切にしている点が評価できる
		100.0%	85.8%	7.1%	7.1%	0.0%	

サービス提供事業所別 評価結果

評価結果

3回目の評価です。すべての評価がA評価でした。

前年度に引き続き、いずれの評価項目でもレベルの高いサービスを提供できていることが確認できました。

この1年での新たな取り組みとしては、法人の基本理念を日頃の業務に落とし込み、より身近なものとして意識を高められるように、全スタッフが各自の行動指針を毎月作成すること、利用者の声をサービス計画等に取り入れるため、施設で作成した満足度調査を実施したこと、専門職の事業所間の横の繋がりを広げる目的も含めた、外部研修の強化が挙げられます。

自立支援介護に関しては、WEB 会議が月に1回開催されており、全スタッフに情報共有がされています。食事、歩行、水分摂取、排泄、認知症に関する基礎知識のテストを実施しており、スタッフの資質向上の意識の強さが感じられました。

面会制限の緩和に伴い、ボランティアの受け入れが再開されたことや、外出の機会が増えたことなど、コロナ禍による閉鎖的になりがちだった生活から、少しずつコロナ前の生活に戻そうとする姿勢や工夫が確認できました。

以前から高水準の意識付けやサービスの提供ができていますが、常に改善を試みており、現状に満足しない向上心が感じられます。

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和3年度	45	97.8%	1	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%
令和4年度	46	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%
令和5年度	46	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	46	100.0%

評価結果

2回目の評価です。すべての項目がA評価でした。

昨年度D評価の実習生の受け入れについては、従業員数が20人未満であるため、今年度は評価対象外となっています。

昨年度C評価の権利擁護に関する取組みについて、マニュアルの整備がされおり、改善されていることが確認できました。抜き打ちテストの実施により、常に権利擁護や虐待に対する意識を持ってもらうよう工夫されています。

昨年度B評価だった項目については、次のような改善が確認できました。

- ・新型コロナウイルスがら類に分類され、面会規制を緩和した結果、利用者家族との対話が増え、意見を直接いただくことが増えたこと
- ・身体拘束などの防止のため、適宜リスクマネジメント委員会を開催していること
- ・利用者、スタッフの意見や要望をサービス計画等に取り入れるため、第三者機関による外部評価も定期的実施していること
- ・職員の資質向上のため、独自のシートを活用して個々の目標設定をしており、定期的な面談もしていること
- ・喀痰吸引の対応などが看護師だけでなく介護職員も対応できるように研修や勉強会が計画的に行われていること
- ・排泄については、運動や食事での改善、薬の摂取量を減らす方針で介助をしており、実際に摂取量が減ってきていること

全体的な評価としては、科学的な観点を用いて定量的な分析ができている一方で、入所前の情報により、生活や入所者の好み・性格などを尊重し、なるべく入所前と同じような気持ちで生活できるように配慮がされていることがわかりました。また、各職員の能力把握や技術の習得についても、本体施設と連携し管理されており、組織全体でサービスの質を向上させるという意識があることが確認できました。

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和4年度	19	44.2%	22	51.2%	1	2.3%	1	2.3%	43	100.0%
令和5年度	42	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	42	100.0%

No.3 みんなの訪問看護リハビリステーションすまいる

評価結果

2回目の評価です。A評価 85.8%、B評価 7.1%、C評価 7.1%、D評価 0.0%でした。

ヒアリングをしていく中で昨年同様、管理者の仕事への熱意、サービスの質への自信と誇りが感じられました。

事業経営が軌道に乗りつつも、厳しい状況には変わりないとのことで、マニュアルの整備等については順次進めていました。

昨年度未着手だった、個人情報取扱要領、単年度単位での研修計画、感染症対応マニュアルについては、この1年で作成されたことが確認できました。長期的な研修計画等については、まだ手が付けられていないため C 評価となっていますが、今後新たなシステムの導入も予定しており、着手されます。

前年度 B 評価だった項目については、次のような独自の工夫が確認できました。

- ・看護師や作業療法士独自の視点・知識からのサービスの提案や、主治医への説明をする点、現状だけでなく、先の状態も見越したサービスの提供をする点
- ・看護計画については、ケアプランとの妥当性を適宜検討し、更新している点、計画の方向性等を全スタッフと共有する環境も整っている点

サービスの提供に関しては、管理者をはじめ、経験年数豊かなスタッフが揃っているので質の高いサービスの提供がされていることが確認できました。

いつか訪れる「死」についても利用者本人やご家族ともしっかり話し合っって細かなアセスメントが出来ている点、ACP の観点からのケアや関係機関との連携を図る点などが評価できました。

	A評価		B評価		C評価		D評価		計	
	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合	区分	構成割合
令和4年度	17	58.7%	5	17.2%	5	17.2%	2	6.9%	29	100.0%
令和5年度	24	85.8%	2	7.1%	2	7.1%	0	0.0%	28	100.0%

2. 総括

1) 評価される点

どの事業所においても、利用者へのサービス提供や説明において、権利擁護や利用者本位のサービス選択や自立支援を意識しており、基本的な質が確保されたサービスを提供できています。

2) 改善への提言

事業計画の策定や評価・改善などは、法人が有しているノウハウや法人の規模によって取組状況が異なり、小規模な法人かつ開設から間もない事業所へは、好事例を紹介し事業所自身がサービスの質の向上につながる取組を検討できるよう、支援する必要があると感じました。

3. 評価結果の公表について

市民・・・いきいき広場の介護保険申請窓口の評価結果を置き、いつでも閲覧可能とします。

事業所・・・第三者評価部会での意見をふまえた結果を事業者へ報告します。